



# 花川南地区の『防災の心得』

※この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

## 平常時

## 災害時

### 1 持ち出し品と 備蓄の用意！

個人で、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れないうちにしよう。

### 2 家族で防災会議！

家族の間で、連絡方法、集合場所

### 3 情報収集手段の確認！

メール等による情報取得では、使えない人へ伝えよう。

### 4 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、町内会や隣近所などが中心となって要配慮者の把握を行おう。

### 5 防災訓練で備える！

想定にとらわれることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えよう。訓練には積極的に参加しよう。地域内の様々な施設と連携した訓練をしよう。避難所の運営訓練をしよう。

### 1 身の安全を確保！

地震発生直後は、身の安全を確保

### 2 周囲の人に知らせる！

隣近所へ声掛けを行い、災害を知らせ合って避難しよう。

### 4 状況を見ながら近隣の 指定緊急避難場所へ！

災害の状況を確認し、さらに危険がある場合は、近隣の指定緊急避難場所へ避難しよう。

### 5 徒歩で避難！

多くの危険があるので、車ではな<、徒歩で避難が原則です。

### 6 助け合って避難！

一人で避難することが困難な高齢者や乳幼児の避難を支援しよう。

### 9 大雨！避難情報に対 応して避難！

大雨の時は市からの避難情報に対応して避難しよう。避難が間に合わないときは屋内の2階へ避難するなどして身の安全を確保しよう。

### 7 大きな通りを通ること！

避難の際は、なるべく大きな通りを

### 8 天候に応じた避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備をして避難をしよう。

## <花川南地区> 地区防災マップの使い方

- 1 地区内の危険をチェックしよう。  
(津波、洪水、土砂災害など)
- 2 自分の家をチェックしよう。
- 3 いつも通っている場所をチェックしよう。  
(学校・職場・病院など)
- 4 近くの避難所をチェックしよう。
- 5 家やいつも通っている場所からの避難ルートを書いてみよう。

※付録の材料を使って家族でマップを完成させよう！  
※地区防災ガイドを詳しく見てみよう！



「いしほ!」※ダウンロード画面では「ライブビュー」と表示されます。  
スマホにインストールして使用するアプリです。  
災害時の緊急情報や市からのお知らせをアプリ通  
知で受けとれるほか、市の施設予約や各種サービス  
へ素早くアクセスすることができ電子回覧板機能も  
利用できます。